

## 令和 2年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	北堀けさ江
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3152
<b>事務事業名</b>	4055 契約事業											
<b>所 属</b>	050300 総務部・財政課											
<b>施 策</b>	07024500 長期的展望に立った財政運営											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	020105 総務費・総務管理費・財産管理費										
	<b>事業</b>	020000 契約事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
入札・契約事務における、より一層の透明性、公平性、競争性を確保する。						公共工事の入札及び契約の適正化を促進し、入札の透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保のため、必要に応じて入札・契約制度の条例規則等の改正を行う。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
入札及び契約に関する公表要領の見直し・策定 入札心得の見直し・策定（郵便での入札書等の提出方法について詳細に定める） 委託業務等の最低制限価格の引上げ	須崎市公共調達発注方針の策定 建設工事等入札参加資格要件の見直し（社会保険等の加入を追加） 建設工事入札参加資格の主観点数加点項目（個人住民税特別徴収実施企業）の追加
<b>平成29年度 実績</b>	<b>平成30年度 実績</b>
建設工事の前払金の支払限度額の撤廃 備品購入における一般競争入札の適用	入札時のくじ引き対策について検討した。また設計額の修正にともなう入札延期方法等について取扱いを定めた。
<b>平成31年度 実績</b>	<b>令和 2年度 予定</b>
建設工事における最低制限価格の算定基準を見直した。 。一抜け方式による適用マニュアルの検討を行った。	入札・契約制度の随時見直し

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		2,184	2,977
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,184	2,977
人員数 (人)	正規職員	1.3	1.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.2
人員 コスト	正規職員	9,444.5	9,444.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	259.6
	計	9,444.5	9,704.1
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,628.5	12,681.1

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	88	消耗品費 88
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,096	システム使用料等 2,096

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	95	消耗品費 95
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,882	臨時職員関係 271、郵便料 3、システム使用料等 2,608、

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	公共調達の実行は市民の生命・財産を守るうえで必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	入札執行にあたり、より公平公正で競争性のある入札の機会を、多くの業者の皆さんに提供する努力を重ねた。制度の見直しを図った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	それぞれの立場の皆さんのご意見を確認しながら、公平公正に、より良い入札制度にしていく必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

建設工事における最低制限価格の算定基準の見直しを行った。また、一抜け方式の適応マニュアルの検討を行った。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
災害により、一時的には増えたものの、全体的には発注量が減少している中で、より多くの市内業者が、公平公正に受注できる仕組みづくりを検討するため、職員のスキルを向上させる必要がある。		入札執行にあたり、より公平公正で競争性のある入札の機会を事業者に提供するするため、制度の見直しを行った。建設工事における最低制限価格の算定基準の見直しを行った。災害対応についても、的確な事務処理を行っている。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	